

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第9号

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校 令和 3年12月 1日 (水)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

『誇り』

校長 小熊 誠

いよいよ本格的に寒くなってきました。吐く息も白くなり始め、日暮れも早くなり、冬の訪れです。冬は、ウイルスの動きが活発化する季節とも言われています。まだまだ、安心はできません。学校も今できる対策を万全にしていけますが、保護者・地域の皆様におかれましてはどうぞお体には十分御留意ください。

今号では御報告が2つあります。まずは、1つ目です。11月11・12日で「修学旅行」に行ってきました。「友情・愛情・二条城 そうだ京都 奈良に行こう～一致団結・支え合い 日本の歴史に親しもう～」のスローガンの下、奈良には行けず、1泊2日の京都のみとはなりましたが、念願の宿泊学習を体験してきました。この「修学旅行」には、生徒、そして3年の教員の熱い思いが、いっぱい詰っていました。その気持ちを表すように、おっきな青空の素晴らしい天気でした。この学年は、館岩に行けませんでした。だから、大原で、中学で、最初で最後の宿泊行事です。今、3年一人ひとりとの面接練習真っ只中ですが、「大原で一番イヤだったこと」という私の質問でダントツに一番多かったのが「館岩に行けなかったこと」という回答でした。そして、生徒たちは、既に2回延期している「修学旅行」を、今度こそ待ち望んでいました。教員も、どうしても生徒と一緒に宿泊を体験したいと、考えられる全ての動きをとり、沢山の方々の支援のもと、そして何より保護者の皆様の御協力と温かい御支援により、何とか実施にたどり着きました。緊急事態宣言明け、さいたま市第1号の「修学旅行」となりました。行きも帰りもバスでレクも無し、新幹線の座席も全て同じ向きで席の移動無し、トランプ等のゲーム類も禁止、宿では部屋の移動無し、お風呂もおしゃべり無し、当然全ての食事は黙食、本当に様々な沢山の制限がありました。それでも、生徒たちは、その制限の中、キラキラに輝いていました。そんな中、本当に嬉しい出来事がありました。それは、行きの新幹線の中でのことです。新幹線は、ほぼ満席で、私の隣にも一般のお客様が座りました。そのお客様は、新大阪まで、久しぶりに小学生のお孫さんに会いに行くお婆さんでした。そのお婆さんが名古屋を過ぎた辺りで、私に右の話をしてくれました。私は、本当に嬉しくなって、胸を張って「さいたま市立大原中学校です」と答えました。そして、夜の室長会で生徒たちに話しました。生徒たちは、大原の誇りを、関西にも残してくれました。3年生、後4ヶ月で大原を旅立ちます。また一つ大原に新しい歴史を刻んでくれました。大原が、また一步、前に進んだ瞬間でした。

2つ目です。12月20日に文部科学省のメールマガジンに掲載された大原の取組に興味を持たれた、文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室長様が、来校されます。今度は、国に大原の誇りを刻みます。保護者・地域の皆様どうぞ御期待下さい。



「なんて、品のいい生徒さんたちなんでしょう。皆、マスクも外さず、席も立たず、穏やかに静かに過ごされていて、それでいて皆笑顔。だから、学校は、コロナウイルスに負けずに、クラスターが出ないのですね。これなら修学旅行もできますよね。孫の学校のことも凄く心配でしたが、何かとても安心しました。この素晴らしい生徒さんたちの学校はどこですか？生徒さんたちに良い気持ちにさせてくれてありがとうございます。」

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校